

MIYU
2020

Public University Corporation MIYAGI UNIVERSITY

2020 年度（令和 2 年度）入学

宮城大学入試ガイド



宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

Contents

AO入試

1. 選抜方法と日程	3
2. AO入試はこんな方にオススメ!	4
3. AO入試の概要	
(1) 第1次選考(書類選考)	4
自己推薦書	5
学修計画書	6
(2) 第2次選考	7
①レクチャー・レクチャーレポート	7
②グループワーク・ふりかえりレポート	9
③面接(口頭試問を含む。)	10

推薦入試

1. 選抜方法と日程	11
2. 推薦入試はこんな方にオススメ!	12
3. 入試科目「面接(口頭試問を含む。)」の流れ	12
4. 入試科目「面接(口頭試問を含む。)」の概要	12

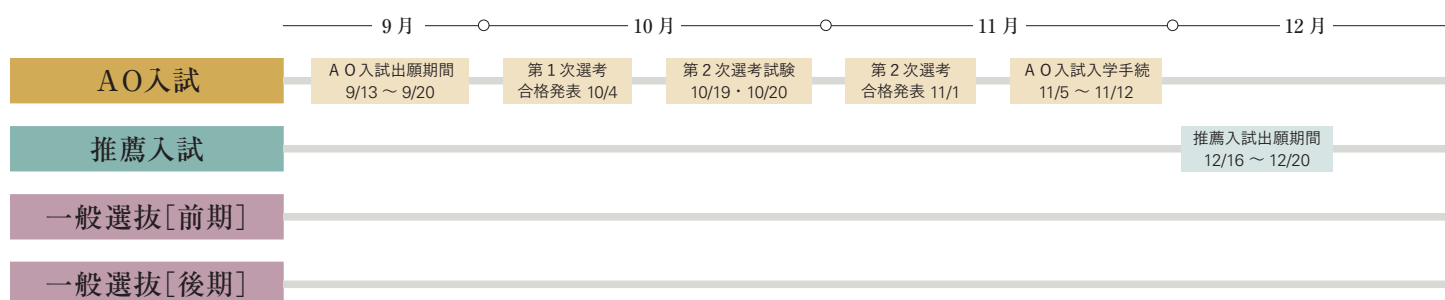
一般選抜[前期・後期]

1. 選抜方法と日程	13
2. センター試験および個別学力検査の科目等	13
3. 入試科目「論説」の概要	15

入学者選抜方法についての Q & A

2019 年度(平成 31 年度) 入学 入試結果	18
2019 年度(平成 31 年度) 出身校所在地別志願者数・入学者数	18

Schedule 2020 年度(令和 2 年度) 入学 入試スケジュール



2020 年度(令和 2 年度) 入学 宮城大学入学者選抜方法

学類単位の入試

AO入試 (P3 参照)

入試科目

各学類	第 1 次選考	1. 自己推薦書	2. 学修計画書	3. 調査書
	第 2 次選考	1 日目	1. レクチャー・ レクチャーレポート	2. グループワーク・ ふりかえりレポート
		2 日目	3. 面接(口頭試問を含む。)	

- 提出書類による第 1 次選考を行い、合格者に対して第 2 次選考を行います。第 2 次選考では 2 日間の試験を通して、「課題を設定し、見直し、解決し、振り返る力」を評価します。
- 高等学校長からの推薦は要しませんので、どなたでも出願できます。
- 本学が指定する大学入試センター試験科目を受験していただき、入学手続後に自己採点のスコアを提出していただきます。
- 本学の一般選抜や推薦入試との併願ができます。



入学時に決定した学類のまま、2 年次に進むことができます。

原則として、途中で学類を変更することはできません。

※このほか、外国人留学生入試を実施します。

学群単位の入試

推薦入試 (P11 参照)

入試科目

各学群	大学入試センター試験	面接(口頭試問を含む。)
-----	------------	--------------

- 大学入試センター試験の受験を課し、**基準得点**として利用します。
- 本学の一般選抜や AO 入試との併願ができます。



2 年次進級時に、学類配属を決定します。

※看護学群は 1 学類のため、全員が看護学類で学ぶことになります。

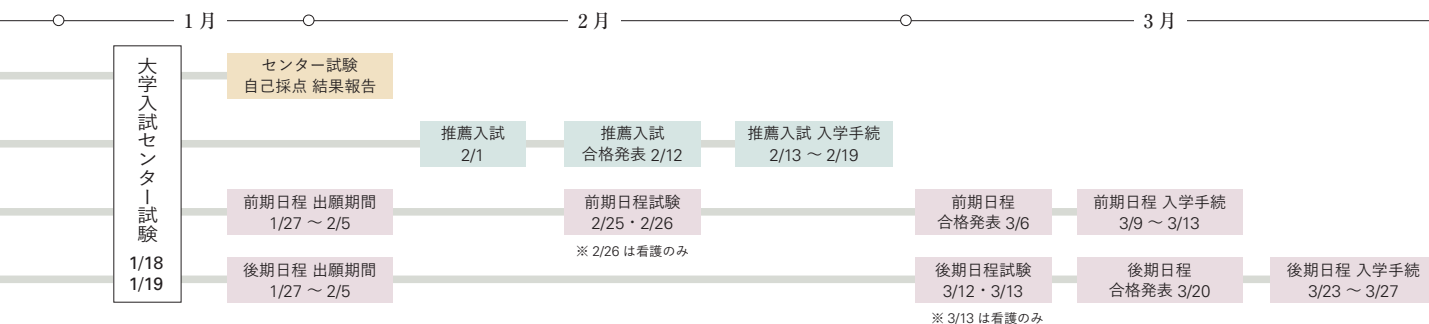
一般選抜[前期・後期] (P13 参照)

入試科目

看護学群	大学入試センター試験	個別学力検査	論説	外国語	面接
事業構想学群		論説	外国語	数学	
食産業学群		外国語	数学・理科		



※このほか、社会人・帰国子女入試を実施します。



AO入試

1 選抜方法と日程

募集人員

看護学群：看護学類 8名

事業構想学群：事業プランニング学類 8名 / 地域創生学類 8名 / 価値創造デザイン学類 8名

食産業学群：食資源開発学類 8名 / フードマネジメント学類 8名

大学入試センター試験の受験が必要です。

大学入試センター試験の出願期間については、大学入試センターが発表する実施要項を確認してください。

出願期間

2019年9月13日（金）～2019年9月20日（金）【最終日必着】

第1次選考

第1次選考では、提出された次の書類により選考を行います。

①自己推薦書
〈受験者が作成〉

これまで（主に高校等）の学習成果やそのことによって得た自身の強みについて事実に基づいて示し、自己を推薦する文章を作成する。

②学修計画書
〈受験者が作成〉

志望する学類への興味や関心をもとに、入学後の目標を実現するために「何を」「どのように」学びたいか、自身の学びの展望を提示し、学修計画を立てる。

③調査書
〈出身高校等で作成〉

高校等での学業成績や活動の記録・評価等を記載する。

第1次選考 合格発表

2019年10月4日（金）

第2次選考

第2次選考では、第1次選考に合格した方に対して、2日間の活動を通じた選考を行います。

1日目〈2019年10月19日（土）〉

①レクチャー・
レクチャーレポート

レクチャー（あるテーマについて、さまざまな資料やデータを用いて事例紹介や説明等を行う）を受講し、その後、レクチャーの内容に関するレポート（設問形式）を作成する。

②グループワーク・
ふりかえりレポート

レクチャーに関連するテーマについて、少人数のグループで議論（グループワーク）を行う。グループワーク終了後、レクチャーから一連の過程を振り返り、自身の思考の変化や深まりをレポートにまとめる。

2日目〈2019年10月20日（日）〉

③面接
（口頭試問を含む。）

高校等での学習成果や与えられた資料等に基づく口頭試問、志望する学類への意欲や資質を問う面接を行う。

第2次選考 合格発表

2019年11月1日（金）

入学手続き後

本学入学後の指導の参考とするため、令和2年度大学入試センター試験において、本学が指定する科目を受験し、自己採点結果を報告していただきます。

2 A O入試はこんな方にオススメ！

- ・大学で学びたいことや、進みたい学類が決まっている方
- ・学類での学修に対する強い意欲や高い資質のある方
- ・高等学校までの総合的な学習の時間等で問題解決型の活動に意欲的に取り組んできた方

3 A O入試の概要

重視する「高校等での学習」の成果

総合的な学習の時間や各教科等での、①問題解決型の活動が発展的に繰り返される探究学習、②互いの考えを伝え合い、自身の考えを発展させる等、他者と協働して課題を解決する学習、③自ら得た情報を分析・評価し、まとめ、表現する学習等
例：総合的な学習の時間での探究活動・協働的な学習・言語活動、SSHでの科学的探究活動、SGHでのグローバル探究学習、専門高校でのプロジェクト学習等

A O入試で評価する資質や能力

これまでの学習に基づく学力の基盤や、高校等での探究的活動に裏付けされた課題発見・解決能力に加えて、自身の興味や関心に基づいた、学類での学修に対する強い意欲や高い資質

(1) 第1次選考(書類選考)

提出された自己推薦書、学修計画書、調査書の内容を総合的に判定して選抜を行います。

自己推薦書・学修計画書は受験者本人が作成したものを、調査書は高校等で作成されたものを提出してください。

①自己推薦書

自己推薦書の内容	これまで（主に高校等）の学習成果やそのことによって得た自身の強みについて、事実に基づいて示し、自己を推薦する文章を作成する。※ P.5 参照
「高校等での学習」の成果として重視する点	高校等での学びの実践を通して、主体的に学び考え、自ら課題を設定し、興味や関心を追究する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	これまでの学習や活動の実績に裏付けられた自身の強みについて、根拠を提示しながら、筋道を立てて説得力のある文章で表現できる力。

②学修計画書

学修計画書の内容	志望する学類への興味や関心をもとに、入学後の目標を実現するために「何を」「どのように」学びたいか、自身の学びの展望を提示し、学修計画を立てる。※ P.6 参照
「高校等での学習」の成果として重視する点	見通しをもって、自身の興味や関心をよく整理した上で、入学後の目標を設定し、その実現に向けた道筋を計画する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	自ら志望する学類への興味や関心をもとに、志望する専門分野の学問的意義や社会的位置付けに関連させながら入学後の目標を設定し、その実現に向けた自身の展望を、根拠を提示しながら、筋道を立てて説得力のある文章で表現できる力。

③調査書

評価する資質や能力	・高校等での学業成績（評定平均値を含む。）等の観点からみた学力の基盤。 ・調査書における「指導上参考となる諸事項」および「総合的な学習の時間の内容・評価」やその他の記載事項からみた学習内容 等 ※総合的な学習の時間を履修しなかった者（研究開発学校、専門学科等）については、総合的な学習の時間に代わる活動の内容・評価を記した副申書をもって代えることができる。
-----------	--

自己推薦書 これまでの学習成果やそのことによって得た自身の強みを PR

自己推薦書作成にあたって

- ・学習成果とは、各教科の学習（総合的な学習の時間を含む。）、ホームルーム活動、生徒会活動および学校行事での成果のことを指します。
- ・学習成果は、「～を経験した」「～ができた」「～の成果を残した」という事実や結果の列挙だけではなく、そこに至るまでの過程や、どのように考えて活動したか、また、それらを通して自分が何を学んだか等を具体的に書いてください。
- ・高等学校等での学習（例えば探究学習等）を通して得た「これだけは誰にも負けない」という自分の強みについて書いてください。
- ・他人の言葉や書籍・インターネットから引用するのではなく、自分の経験を踏まえ、自分の言葉で書いてください。

(1ページ目)

2020年度入学 宮城大学 A〇入試

自 己 推 薦 書

※ 受験番号

志望学群・学類	学 群		学 類
フリガナ		性 別	男 ・ 女
氏 名		生 年 月 日	年 月 日

あなたのこれまでの学習成果やそのことによって得た自分の強みについて、自ら取り組んだ実践の過程を概要に示しながら説明し、自己を推薦する文章を作成した上で、その文章に表題をつけてください。

表 題

自己を推薦する文章に表題をつけ、記入してください。

※ 受験番号を除き、必要事項すべてを記入し、または該当項目に○印を付してください。 (1/2ページ)

(2ページ目)

約500字

・ 2 ページの枠内でのみ作成してください。

・ 手書きの文章のみ可。ワープロの使用、図や写真の挿入は不可とします。

・ 資料（賞状の写し、新聞記事、論文、CD等）の添付は認めません。

約1000字

(2/2ページ)

※文字数は、あくまでも目安です。

自己推薦書作成のポイント

- ・これまでの学習のなかで、課題を自分で見つけて、それを解決するための活動や情報収集を行った経験があれば、その過程を具体的に記載しよう。
- ・その結果、どのようなことが得られたのか、学習と得られたこととのつながりがわかるように記載しよう。
- ・学習の過程で、新しい気づきがあったか、自分の強みは何か、振り返って考えてみよう。自分を分析してみることが大切！
- ・ほかの人にはない自分の特徴をアピールしよう。

学修計画書 入学後の学びの展望を示す

学修計画書作成にあたって

- ・単に「～を学びたい」「～をしたい」ということを書くのではなく、なぜその分野に興味を持ったのか、興味を持ったことに対してこれまでにどのような活動をしたのか等を具体的に書いた上で、入学後の学修に対する自らの展望を説明してください。
- ・志望する学群・学類が持つ学問的意義や社会的位置付けを明確にしなが、志望分野への強い意欲や、自ら積極的に学ぼうとする姿勢等を、自分の言葉で書いてください。
- ・大学での4年間の学びにとどまらず、大学卒業後の自分の将来の姿をイメージし、関連させながら書いてください。

(1ページ目)

2020年度入学 宮城大学 A O 入試

学 修 計 画 書

※ 受験番号

志望学群・学類	学 群	学 類
フリガナ	性 別	男 ・ 女
氏 名	生 年 月 日	年 月 日

あなたが志望する学群・学類で、入学後の目標を実現するために「何を」「どのように」学びたいかを計画し、文章で書いてください。

(1/2ページ)

※ 受験番号を除き、必要事項すべてを記入し、または該当項目に○印を付してください。

(2ページ目)

約500字

・2ページの枠内でのみ作成してください。

・手書きの文章のみ可。ワープロの使用、図や写真の挿入は不可とします。

・資料（賞状の写し、新聞記事、論文、CD等）の添付は認めません。

約1000字

(2/2ページ)

※文字数は、あくまでも目安です。

学修計画書作成のポイント

- ・志望する分野に興味を持ったきっかけや理由を具体的に記載しよう。
- ・志望する分野に関連することについて、自分で活動したり、調べたりしたことがあれば、必ず記載しよう。
- ・大学での学びへの熱い思いを記載しよう。将来の「夢」だけでなく、入学後にいつ、何を、どのように学んでいくのかなど、できるだけ具体的に「計画」を立ててみよう。
- ・大学での学びは、社会ではどんな意味があるのか、調べてみよう。オープンキャンパスでは研究内容の紹介もしているので、興味のある分野を覗いてみることもおすすめ！

(2) 第2次選考

第1次選考に合格した方に対して、下記の2日間の活動を評価した成績、調査書および出願書類の内容を総合的に判定して選考を行います。

選抜日程	試験科目	内 容	評 価
1 日目	レクチャー (50 分)	講師によるレクチャーを受講します。	レクチャーレポートを対象とします。
	レクチャーレポート (80 分)	レクチャーの内容に関するレポートを作成します。	
	グループワーク (60 分)	レクチャーに関連するテーマについて、少人数のグループで議論を行います。	主としてふりかえりレポートを対象とします。
	ふりかえりレポート (45 分)	レクチャーから一連の過程を振り返り、レポートを作成します。	
2 日目	資料読解 (20 分)	資料の読解を行います。	—
	面接 (口頭試問を含む。)(25 分)	読解を行った資料に関する口頭試問を受けます。また、志望する学類への意欲や資質を問う面接を受けます。	口頭試問を重視します。

①レクチャー・レクチャーレポート

レクチャー・レクチャーレポートの内容	レクチャー（あるテーマについて、さまざまな資料やデータを用いて事例紹介や説明等を行う。）を受講し、その後、レクチャーの内容に関するレポート（設問形式）を作成する。
「高校等での学習」の成果として重視する点	聴講活動を通して、課題意識をもち、得られた事象や情報を整理・分析し、概要にまとめ、論述する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	与えられた事象や情報を的確に把握し、その中から必要なものを抽出・分析する力。さらに、自身が探究すべき課題を設定し、高校等での学習や自身の経験をレクチャーの内容と関連付けながら、その解決への道筋を考察し、論述できる力。

昨年のレクチャー・レクチャーレポートの内容例 （実際のものと表現は少し異なります。）

テーマ「産業としての日本酒と地域振興」

〈レクチャー概要〉

近年、海外で「日本食」の人気の高まりとともに「日本酒」にも注目が集まっている。こうした動向のもと、日本酒を地域振興に活用しようという試みがなされはじめている。レクチャーでは、地域振興における日本酒の可能性やそれを実現するための課題について検討した。日本酒は米を原料とする酒であるが、米は日本社会において特異な位置を占める食料品である。レクチャーでは、まず、こうしたことに由来する社会における日本酒が担ってきた役割を歴史に沿って検討した。次に、産業としての日本酒の特性を、数量データを参照しつつ明らかにした。さらに、地域振興における日本酒を活用している先進的な例を紹介した。

〈レクチャー資料〉

- 図表1 海外における日本食レストランの数に関する表
- 図表2 日本における酒類の歴史に関する表
- 図表3 地租・所得税・酒税の税収割合の推移を示したグラフ
- 図表4 戦中・戦後の日本酒生産量を示したグラフ
- 図表5 酒類販売数量の推移を示したグラフ
- 図表6 ビールの製造量の推移を示したグラフ
- 図表7 日本の国民1人当たり実質国民所得の推移を示したグラフ

- 図表 8 電化製品の保有率の推移に関する表
 図表 9 酒類販売数量の推移を示したグラフ
 図表 10 日本酒の国内出荷量の推移を示したグラフ
 図表 11 日本酒の好意度 / 性年代別 日本酒好きの割合を示したグラフ
 図表 12 日本酒の飲用率 / 性年代別 今後の日本酒の飲用意向を示したグラフ
 図表 13 酒類の輸出数量および輸出金額の推移を示したグラフ
 図表 14 酒類の輸出金額の推移(国(地域)別)を示したグラフ
 図表 15 平成 29 年 酒類の国(地域)別輸出金額に関する表
 図表 16 酒類の輸出金額の推移を示したグラフ
 図表 17 日本酒の輸出数量の推移を示したグラフ
 図表 18 平成 29 年 日本酒の国(地域)別輸出金額に関する表
 図表 19 日本酒の輸出数量に占める特定名称酒の割合を示したグラフ

〈レクチャーレポート設問〉

問 1 社会の変化によって、日本酒を含む酒類の生産量や販売数量も変化する。

新たに図 A が示される。

- (1) 図表 4 にあるように、戦中から戦後初期にかけて日本酒生産量が減少した。図 A は、同時期の米の収穫量の変遷を示したものである。レクチャーの内容および図 A をもとに、この時期に日本酒の生産量が減少した理由を考察しなさい。

⇒ねらい：レクチャーの内容の理解力および複数の資料を関連付けて考察するための論理的思考力をみる。

新たに図 B、図 C、図 D、図 E が示される。

- (2) 図表 9 にあるように、平成 8 年度をピークに酒類販売数量が減少している。図 B は日本の人口の推移を、図 C は日本の成人人口の推移を年齢層別に表したものである。また、図 D、図 E は飲酒習慣のある者の年齢層別の割合を、前者は男性、後者は女性について表したものである(なお、「飲酒習慣のある者」とは週 3 日以上飲酒する者とする)。図 B～E から読み取れる情報をもとに、酒類販売数量が減少した理由を考察しなさい。

⇒ねらい：複数の図表を読解および分析した上で得た知見を関連付けて、総合的に考察するための論理的思考力をみる。

問 2 近年、海外においても日本酒への関心が高まっている。そこで「日本酒の輸出」について分析したい。

- (1) 平成 20～28 年の日本酒の総出荷量に対する輸出数量の割合の変化について調べたい。平成 20 年、24 年、28 年をサンプルにしてグラフを描きなさい。なお、作成においては、レクチャー資料冊子に記載されている数値を用いてパーセントで少数第 2 位まで計算し(少数第 3 位を四捨五入する)、その値をグラフ中に記載すること。

- (2) (1) で描いたグラフから読み取ることのできる傾向を説明しなさい。

⇒ねらい：与えられた複数の図表から必要な情報を選択し、それらを適切に処理・分析する力をみる。

問 3 地域振興の手段の 1 つとして、日本酒の活用が期待されている。

- (1) 地域振興に日本酒をどのように活用できるだろうか。地域振興へ期待される効果も含め、その活用方法を具体的に述べなさい。

- (2) (1) で述べた活用方法を実施する上でいかなる課題があるだろうか、対処方法も含め、課題について具体的に述べなさい。

⇒ねらい：根拠を持って自らの考えを展開し、説得力を持って論述できる力をみる。

レクチャー・レクチャーレポートのポイント

- ・レクチャーで説明される内容を、理解しながらしっかりメモしておこう。
- ・レクチャーやレクチャーレポートでは、グラフや表が多く出てきます。グラフや表からどんなことが読み取れるのか、普段から考える癖をつけておこう。
- ・また、読み取った内容を文章で適切に表現できるようにしておこう。

②グループワーク・ふりかえりレポート

グループワーク・ふりかえりレポートの内容	レクチャーに関連するテーマについて、少人数のグループで議論（グループワーク）を行う。グループワーク終了後、レクチャーから一連の過程を振り返り、自身の思考の変化や深まりをレポートにまとめる。
「高校等での学習」の成果として重視する点	他者と協働して課題を解決することができる力や、課題解決に至るまでのプロセスの中で、自身の思考の変化や深まりに気づく力が身についている。
評価する資質や能力	自身の考えを他者と共有し、進んでグループに貢献する力や、他者の意見や問題提起等を受け、さまざまな意見を比較しながら、自身の思考を展開する力。さらに、自身の思考の展開について、根拠を示しながら、筋道を立てて説得力のある論述ができる力。

昨年のグループワーク・ふりかえりレポートの内容例

〈グループワークテーマ〉

レクチャーでは、日本酒を例として伝統的な産業を地域振興に活用することについて考察した。しかし、こうした取り組みは日本酒に限るものではない。地域の伝統的な産業を地域振興にどのように活用すればよいだろうか。その具体的な取り組み方法およびその地域振興への効果について議論しなさい。また、活用方法の実施によって生じる課題やその対処についても、あわせて議論しなさい。

〈ふりかえりレポート設問〉

- 問1 グループワークでの議論を踏まえた上で、グループワークを行う前と後でどのように自分の考えが変化したかを示しながら、地域振興のための伝統的な産業の最も可能性の高い活用方法を、その効果も含めて具体的に述べなさい。
⇒ねらい：他者の意見や問題提起等を受け、さまざまな意見を把握しながら、自身の思考を展開する力をみる。
- 問2 問1で述べた活用方法を実施する上でいかなる課題があるか。その対処方法も含めて具体的に述べなさい。
⇒ねらい：自身の思考の展開について、根拠を示しながら、筋道を立てて説得力のある論述をする力をみる。

グループワーク・ふりかえりレポートのポイント

- ・グループワークでは、自分以外の受験者の意見を聴いて、納得したり、ここが自分の考えとは違うなと感じたりしながら、自分の考えをできるだけ深めるようにしよう。議論に積極的に参加することが、自分の考えの整理にも役立ちます。
- ・ふりかえりレポートでは、グループワークで議論したことを踏まえて、自分の考え方がどのように広がったり、変化したり、確かなものになったか、文章で表現しよう。

③面接（口頭試問を含む。）

面接（口頭試問を含む。）の内容	高校等での学習成果や与えられた資料等に基づく口頭試問、志望する学類への意欲や資質を問う面接を行う。
「高校等での学習」の成果として重視する点	事象や情報を的確に把握し、伝達できる力や態度が身についている。 さらに、自身の興味や関心を整理し、入学後の学修を見通す力や態度が身についている。
評価する資質や能力	高校等での基礎的・基本的な学習成果をもとにして、与えられた事象や情報を的確に把握し、その内容を整理して、具体的な根拠を明示する等、説得力をもって応答できる力。 さらに、高校等での学びの実践に基づく、学類での学修に対する強い意欲や高い資質。

昨年の口頭試問の内容例（与えられる資料や口頭試問の内容は、一部を抜粋しています。）

〈与えられる資料〉

生物の適応と進化に関する文章および図表

〈口頭試問 1〉

「生物多様性条約」は何を目的としてつくられましたか。主な目的を2つ挙げてください。

〈口頭試問 2〉

ペンギンは、生物にとって非常に過酷な状況でも生きられるように、体温をほぼ一定に保つ働きを持っています。このような動物を何と呼ぶか教えてください。

そして、そのようなからだの状態を生命活動に適した条件に一定に保つはたらきを何と呼ぶか教えてください。

⇒ねらい：高校等での学習成果に基づいて、与えられた資料に関する基本的事項を適切に説明する力をみる。

〈口頭試問 3〉

下記は、過去15年間におけるフグによる食中毒の発生状況について、発生件数と患者数の相関係数の計算過程です。発生件数と患者数の相関係数 r の値は、0.91 でした。相関係数を算出するための公式について、①と②それぞれに当てはまる用語を教えてください。

$$\begin{aligned}
 &\text{過去 15 年間におけるフグによる食中毒の} \\
 &\quad \text{発生件数と患者数の相関係数} \\
 &\text{相関係数 } r = \frac{\text{発生件数と患者数の (②)}}{\text{発生件数の (①)} \times \text{患者数の (①)}} \\
 &= 0.91
 \end{aligned}$$

⇒ねらい：高校等での学習成果に基づいて、与えられた事象や情報を的確に把握し、計算式を構築する力をみる。

※ 口頭試問の内容は、原則として学類ごとに異なります。

※ 資料に基づく口頭試問のほか、高校等での学びの実践に基づく、学類での学修に対する強い意欲や高い資質を評価する面接を行います。

推薦入試

1 選抜方法と日程

募集人員

看護学群：24名
事業構想学群：40名
食産業学群：28名

出願資格

令和2年度大学入試センター試験のうち指定する教科・科目をすべて受験し、次の(1)から(4)までのすべてに該当する方
(1) 高等学校または中等教育学校を2020年3月に卒業見込みの方
(2) 志望する学群に対し、熱意と適性を有する方で、高等学校または中等教育学校の長が責任を持って推薦できる方
(3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる方
(4) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の方で、人物、学力ともに特に優秀である方

推薦人数の概要

看護学群

推薦できる人数は、宮城県内の高等学校または中等教育学校から1校あたり2人まで、宮城県外の高等学校または中等教育学校から1校あたり1人としています。

事業構想学群・食産業学群

推薦できる人数は、宮城県内の高等学校または中等教育学校からは1校あたり各学群4人まで、宮城県外の高等学校または中等教育学校からは1校あたり各学群2人までとしています。

※詳細は入学者選抜要項を確認してください。

出願期間

2019年12月16日(月)～2019年12月20日(金) 【最終日必着】

令和2年度 大学入試 センター試験

試験日：2020年1月18日(土)・2020年1月19日(日)

大学入試センター試験の成績(得点)が「基準得点」以上である受験者を選抜の対象とします。

「基準得点」の設定

基準得点 476

高等学校までの「偏りなく幅広く、継続した学習」の成果を求めるため、大学入試センター試験の成績に「基準得点」を設けています。

※基準得点以上の方の数が募集人員に満たない場合は、基準得点を下げることがあります。

〈大学入試センター試験の利用教科・科目〉

教科	国語	地理歴史・公民	理科	数学	外国語	合計
配点	200	100	100	200	250	850

■国語：「国語」

■地理歴史・公民：「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」

「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1

■理科：「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2または「物理」「化学」「生物」「地学」から1

■数学：「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」から1かつ「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1

■外国語：「英語(リスニングテストを含む)」

大学入試センター試験「外国語(英語)」の取り扱いについて、受験上の配慮によるリスニング免除者は、筆記のみの得点を250点満点に換算して採用します。

選抜期日

面接(口頭試問を含む。)の実施日：2020年2月1日(土)

調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類の内容及び面接(口頭試問を含む。)の成績を総合的に判定します。

合格発表

2020年2月12日(水)

2 推薦入試はこんな方にオススメ！

- ・リーダーシップを発揮し、率先して様々な活動に取り組める方
- ・大学に入学してから、自分の進みたい道（学類）を決めたい方
- ・高校までの、偏りなく幅広く、継続した学習の成果が身についている方

3 入試科目「面接（口頭試問を含む。）」の流れ

試験科目	内 容	評 価
資料読解（20 分）	資料の読解を行います。	—
面接（口頭試問を含む。）（25 分）	読解を行った資料に関する口頭試問を受けます。 また、志望する学群への意欲や資質を問う面接を受けます。	口頭試問を重視します。

4 入試科目「面接（口頭試問を含む。）」の概要

面接（口頭試問を含む。）の内容	高校等での学習成果や与えられた資料等に基づく口頭試問、志望する学群への意欲や資質を問う面接を行う。
「高校等での学習」の成果として重視する点	事象や情報を的確に把握し、伝達できる力や態度が身についている。 さらに、自身の興味や関心を整理し、入学後の学修を見通す力や態度が身についている。
評価する資質や能力	与えられた事象や情報を的確に把握し、その中から必要なものを抽出・分析する力。さらに、関連する新たな課題を見出し、高校等での学習や自身の経験を資料等の内容と関連付けながらその解決への道筋を考察し、具体的な根拠を明示する等、説得力をもって応答できる力。また、高校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質。

昨年の口頭試問の内容例（口頭試問の内容は、一部を抜粋しています。）

〈与えられる資料〉

寄付、ファンドレイジング*について述べられた文章および図表

*ファンドレイジング：NPO などが事業に必要な資金を社会から集める手段のこと。資金調達。

〈口頭試問 1〉

アメリカ社会には人々が行う「寄付」に関してどのような特徴があると著者は考えているか、説明してください。

〈口頭試問 2〉

著者は、「社会変革型寄付」を広めるためには、NPO によるどのような行いが重要であると述べていますか。また、なぜそのような行いが「社会変革型寄付」を促すことにつながると考えられますか。著者の考えに基づき説明してください。

⇒ねらい：与えられた文章から著者の考えを適切に読み取り、内容を整理して論理的に説明する力をみる。

※ 資料に基づく口頭試問のほか、高校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質を評価する面接を行います。

一般選抜[前期・後期]

1 選抜方法と日程

募集人員 看護学群：前期 48 名 / 後期 10 名
事業構想学群：前期 100 名 / 後期 20 名
食産業学群：前期 62 名 / 後期 12 名

令和2年度
大学入試
センター試験 2020 年 1 月 18 日 (土) ~ 2020 年 1 月 19 日 (日)

出願期間 2020 年 1 月 27 日 (月) ~ 2020 年 2 月 5 日 (水) 【最終日必着】

個別学力検査 前期：2020 年 2 月 25 日 (火) 後期：2020 年 3 月 12 日 (木)
看護学群：論説, 外国語 (英語)
事業構想学群：論説, 外国語 (英語), 数学
食産業学群：外国語 (英語), 数学・理科
前期：2020 年 2 月 26 日 (水) 後期：2020 年 3 月 13 日 (金)
看護学群：面接

合格発表 前期：2020 年 3 月 6 日 (金) 後期：2020 年 3 月 20 日 (金・祝)

2 センター試験および個別学力検査の科目等

看護学群 一般選抜(前期日程・後期日程) 共通

大学入試センター試験		個別学力検査
教科	科目	「論説」 「外国語」 「面接」
国語	「国語」	
地理歴史 公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2 かつ「物理」「化学」「生物」から1 または「物理」「化学」「生物」から2	
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」から1 かつ「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から1	
外国語	「英語 (リスニングテストを含む。)」	
5 教科 7 科目または 5 教科 8 科目		

大学入試センター試験 選択科目数

国語	地歴公民	理科	数学	外国語
1	1	2 または 3 ※	2	1

※理科の選択方法



注意事項

- 地歴において、「世界史A」、「日本史A」、「地理A」は選択できません。
- 理科において、「地学基礎」、「地学」は選択できません。
- 理科の選択方法について、① (理科基礎あり2科目と理科基礎なし1科目の選択) の場合、理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。
- 大学入試センター試験「外国語 (英語)」の取り扱いについて、受験上の配慮によるリスニング免除者は、筆記のみの得点を換算して採用します。

大学入試センター試験		個別学力検査
教科	科目	「論説」 「外国語」 「数学」
国語	「国語」	
地理歴史 公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から0または2 かつ「物理」「化学」「生物」「地学」から0, 1または2	
数学	「数学Ⅰ・数学A」かつ「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1	
外国語	「英語(リスニングテストを含む。)」	
5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目または6教科8科目		

大学入試センター試験 選択科目数					※地歴公民と理科の選択方法			
国語	地歴公民	理科	数学	外国語	①	②	③	④
1	3 または 4 ※	2	2	1				

注意事項

- 地歴において、「世界史A」「日本史A」「地理A」は選択できません。
- ①または②(地歴公民から2科目選択)の場合、公民からの2科目選択はできません。
- 理科の選択方法について、③(理科基礎あり2科目と理科基礎なし1科目の選択)の場合、理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。
- 大学入試センター試験「外国語(英語)」の取り扱いについて、受験上の配慮によるリスニング免除者は、筆記のみの得点を換算して採用します。

大学入試センター試験		個別学力検査
教科	科目	「外国語」 「数学・理科」
国語	「国語」	
地理歴史 公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から0または2 かつ「物理」「化学」「生物」から0, 1または2	
数学	「数学Ⅰ・数学A」および「数学Ⅱ・数学B」	
外国語	「英語(リスニングテストを含む。)」	
5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目または6教科8科目		

大学入試センター試験 選択科目数					※地歴公民と理科の選択方法			
国語	地歴公民	理科	数学	外国語	①	②	③	④
1	3 または 4 ※	2	2	1				

注意事項

- 地歴において、「世界史A」「日本史A」「地理A」は選択できません。
- 理科において、「地学基礎」「地学」は選択できません。
- ①または②(地歴公民から2科目選択)の場合、公民からの2科目選択はできません。
- 理科の選択方法について、③(理科基礎あり2科目と理科基礎なし1科目の選択)の場合、理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。
- 大学入試センター試験「外国語(英語)」の取り扱いについて、受験上の配慮によるリスニング免除者は、筆記のみの得点を換算して採用します。

3 入試科目「論説」の概要

論説の内容	課題文や資料（文章や図表等）を読み、設問に解答する。
「高校等での学習」の成果として重視する点	得られた事象や情報を整理・分析し、概要にまとめ、論述する力や態度が身についている。
評価する資質や能力	与えられた事象や情報を的確に把握し、その中から必要なものを抽出・分析する力。さらに、課題を見出し、高校等での学習や自身の経験を資料等の内容と関連付けながら、その解決への道筋を考察し、論述できる力。

今年の「論説」の内容例 （一部を抜粋しています。）

〈テーマ〉

わが国および東北地方の観光に関する現状と課題

〈与えられる資料〉

資料1 図表A 訪日外国人旅行者数および訪日外国人旅行者による消費総額の推移を示したグラフ

図表B 訪日外国人旅行者一人当たりの費目別消費額単価の推移を示したグラフ

資料2 図表C 地方別訪日外国人旅行者の延べ宿泊者数（従業員10人以上の施設）を示したグラフ

図表D アジア4ヶ国の訪日旅行経験者が地方で体験したい観光活動（複数回答）を示したグラフ

図表E 特別地域観光資源の地方別件数に関する表

資料3 インバウンド市場の拡大と東北がもつ潜在力に関する文章

【文章の概要】

東北の強みは、日本の原風景を感じさせる自然の営み、豊富な雪資源、祭り等の文化である。インバウンド市場が拡大する中で、東北にはインバウンドでの成長に大きな余地が残されている。

資料4 日本の観光産業において注力すべきことに関する文章

【文章の概要】

日本は「自然」に関してかなりの強みがある。滞在型で支出額が増え、稼ぐことができる自然を活用した体験観光は、日本の観光産業において非常に大きな伸び代がある。

資料5 観光資源と環境保全の両立について述べられた文章

【文章の概要】

持続可能な観光まちづくりを推進するためには、地域の「環境容量」（その地域の許容量）を認識し、持続可能なまちづくりの技術・エンジニアリングを導入していくことが求められている。

〈設問〉

問1 （1）資料1から読み取ることができる、訪日外国人旅行者数の傾向および訪日外国人旅行者の消費動向について、150字以内で述べなさい。

（2）資料2から読み取ることができる東北地方の観光の現状を200字以内で述べなさい。

⇒ねらい：与えられた図表から事象を的確に把握する力、与えられた図表を関連付けて事象・現象の要点やそこから読み取れる課題を整理して示す力、わかりやすい文章で簡潔にまとめる力をみる。

問2 資料3～資料5のそれぞれで述べられている見解を要約しなさい。さらに、そこから導き出される論点を整理しなさい。あわせて250字以内で述べなさい。

⇒ねらい：与えられた複数の文章からそれぞれ見解を要約し、それらを関連付けて論点を整理する力、わかりやすい文章で簡潔にまとめる力をみる。

問3 これまで示された資料をもとに、東北地方における観光振興の課題を3つ挙げなさい。さらに、あなたが東北地方における観光振興の責任者になったと仮定して、挙げた課題の中から1つを選択し、その課題解決のための具体的な方策について述べなさい。あわせて400字以内で述べなさい。

⇒ねらい：与えられた資料から課題を見出し、高校等での学習や自身の経験と関連付けながら、課題解決への道筋を考察する力をみる。

論説のポイント

- ・1つのテーマに関する複数の資料（文章、グラフ、表等）について、それらを関連付けながら読み解くことができるようにしよう。
- ・課題になっていることは何か、自分ならその課題にどう対応するかを常に考えるようにしよう。その時に、自分の考えを補強するためにはどんなことを調べたらよいかも、あわせて考えてみよう。
- ・普段から、論理的でわかりやすい文章で表現できるように心がけよう。

入学者選抜方法についてのQ&A

●AO入試に関すること

Q 1 自己推薦書に記載できるのは、学習の成果だけですか。部活動等について記載しても評価されないのでしょうか。

A 1 学習成果（各教科の学習、ホームルーム活動、生徒会活動および学校行事での成果）を評価対象としています。部活動や校外での活動を除外するものではありませんが、「学習成果」と関連付けて記載してください。

Q 2 調査書の評定はどのくらい必要ですか。

A 2 AO入試では、出願要件としての基準を設けていません。第1次選考の書類審査では、評定だけではなく、調査書の内容を総合的に評価します。（注：推薦入試の出願要件については、調査書の全体の評定平均値が4.0以上としています。）

Q 3 レクチャーは、志望する学群・学類に関連した内容が出るのですか。

A 3 全学類の受験者に対して同じ内容のレクチャーを行いますので、必ずしも志望する学群・学類に関連した内容ではありません。

Q 4 レクチャーレポート作成のためには、どのような対策が必要ですか。

A 4 高等学校等での授業の時に先生が話した内容についてメモをとり、自分で整理することがとてもよいトレーニングになります。

Q 5 推薦入試・一般選抜との併願はできますか。

A 5 本学の推薦入試・一般選抜にも出願することができます。ただし、AO入試に合格し、入学手続きを済ませた後は、他の入試区分の入試を受けても合格者とはなりません。

Q 6 AO入試で入学することのメリットは何ですか。

A 6 AO入試合格者は、入学時に学類が決定しているため、1年次から、各学類の2年次以降の専門的な学びを見通した学修に取り組むことができます。

●推薦入試に関すること

Q 7 AO入試・一般選抜との併願はできますか。

A 7 本学のAO入試・一般選抜にも出願することができます。ただし、推薦入試に合格し、入学手続を済ませた後は、他の入試区分の入試を受けても合格者とはなりません。なお、他の国公立大学の推薦入試とは併願できませんので、注意してください。

Q 8 大学入試センター試験の得点はどのように扱われますか。

A 8 基準得点以上の受験者を選抜対象とします。大学入試センター試験の得点は、合算するなどして合否判定に利用するわけではありません。

●一般選抜に関すること

Q 9 看護学群において、2018年度入試から大学入試センター試験の理科で「基礎あり2科目選択」のみで受験ができなくなった理由を教えてください。

A 9 「高等学校等までの偏りなく幅広く、継続した学習」の成果を求めることとしているため、2018年度入試から、「基礎なし科目」を少なくとも1科目課すこととしました。

Q 10 食産業学群「数学・理科」のA区分、B区分について教えてください。

A 10 食産業学群の入試科目「数学・理科」は、数学重視のA区分と理科重視のB区分に分かれています。A区分は数学90分・理科45分、B区分は数学45分・理科90分です。出願時にA区分またはB区分を選択します。また、理科の解答科目は試験時間中に選択します。

Q 11 数学や理科の個別学力検査の出題範囲を教えてください。

A 11 食産業学群の個別学力検査においては、「数学・理科」として、数学重視の「A区分」と理科重視の「B区分」を設けています。「A区分」の理科は「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目の選択とし、「B区分」の理科は「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」から1つの選択とし、いずれも全範囲からの出題とします。「数学・理科」は、いわゆる合科目型の試験ではなく、数学と理科を1つの連続した検査時間の中で課す試験となりますが、区分によって数学と理科の検査時間が異なります。

また、事業構想学群と食産業学群で課される数学においては、「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」の全範囲から出題します。ただし、「数学A」は「場合の数と確率」「整数の性質」「図形の性質」の3項目の内容のうち2項目以上を、「数学B」は「数列」「ベクトル」「確率分布と統計的な推測」の3項目の内容のうち2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答できるようにします。

2019 年度（平成 31 年度）入学 入試結果

入試の単位	区分	学群	学類	募集人数	出願者数	第 1 次選考 (書類選考) 合格者数	第 2 次選考 受験者数	第 2 次選考 合格者数	実質競争倍率	入学者数
学類単位 の入試	AO 入試	看護学群	看護学類	8	52	26	26	9	5.8	9
		事業構想学群	事業プランニング学類	8	15	14	14	8	1.9	8
			地域創生学類	8	31	25	25	10	3.1	10
			価値創造デザイン学類	8	25	25	24	9	2.8	9
		食産業学群	食資源開発学類	8	10	10	10	6	1.7	6
			フードマネジメント学類	8	20	20	20	9	2.2	9

入試の単位	区分	学群	募集人数	出願者数	受験者数	合格者数	実質競争倍率	入学者数
学群単位 の入試	推薦入試	看護学群	24	80	72	25	2.9	25
		事業構想学群	40	104	98	43	2.3	43
		食産業学群	28	26	25	15	1.7	15
	一般選抜 [前期]	看護学群	48	153	128	56	2.3	52
		事業構想学群	100	282	237	123	1.9	119
		食産業学群	62	213	185	97	1.9	85
	一般選抜 [後期]	看護学群	10	165	56	13	4.3	13
		事業構想学群	20	267	104	25	4.2	20
		食産業学群	12	275	89	22	4.0	17

2019 年度（平成 31 年度）出身校所在地別志願者数・入学者数

出身校 所在地	看護学群						事業構想学群						食産業学群					
	志願者数			入学者数			志願者数			入学者数			志願者数			入学者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
北海道	2	1	3	0	1	1	4	2	6	2	0	2	7	6	13	2	4	6
青森県	1	34	35	0	7	7	8	25	33	0	8	8	11	11	22	4	4	8
岩手県	2	25	27	1	5	6	10	25	35	3	9	12	2	26	28	1	7	8
宮城県	41	266	307	6	66	72	245	297	542	62	92	154	86	161	247	20	41	61
秋田県	2	25	27	0	8	8	7	7	14	3	3	6	4	5	9	0	2	2
山形県	0	10	10	0	1	1	9	17	26	4	7	11	6	19	25	1	4	5
福島県	2	20	22	0	3	3	12	15	27	4	5	9	4	24	28	0	7	7
東北 6 県	48	380	428	7	90	97	291	386	677	76	124	200	113	246	359	26	65	91
関東	1	13	14	0	0	0	9	10	19	1	2	3	30	49	79	6	6	12
中部	0	9	9	0	2	2	7	7	14	1	2	3	29	40	69	5	13	18
近畿	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	11	14	0	3	3
中国・四国	0	0	0	0	0	0	1	3	4	0	0	0	2	1	3	0	0	0
九州・沖縄	1	0	1	0	0	0	2	2	4	1	0	1	2	5	7	0	2	2
その他	0	1	1	0	0	0	5	8	13	3	3	6	3	3	6	3	0	3
合計	52	406	458	7	93	100	319	418	737	84	131	215	189	361	550	42	93	135

入学者選抜に関する問い合わせは

宮城大学 アドミッションセンター

大和キャンパス／〒 981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1

TEL.022-377-8333 FAX.022-377-8282

宮城大学ウェブサイト <http://www.myu.ac.jp/>